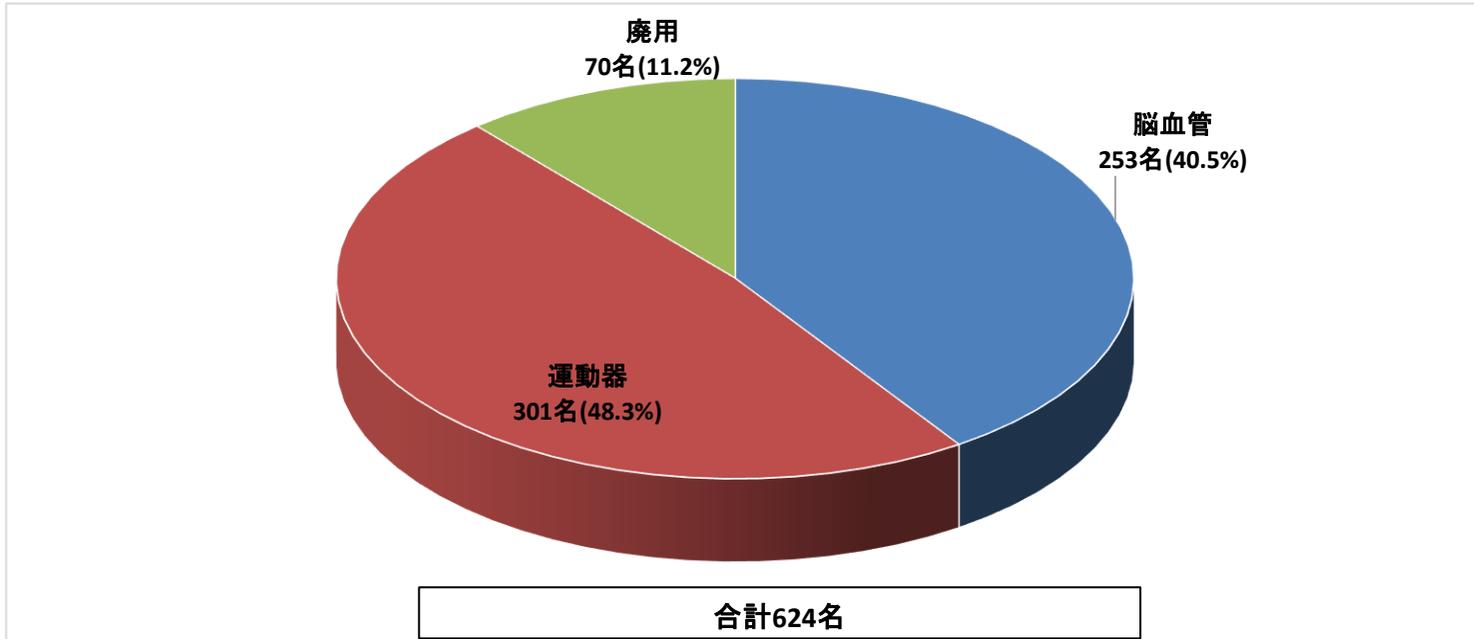
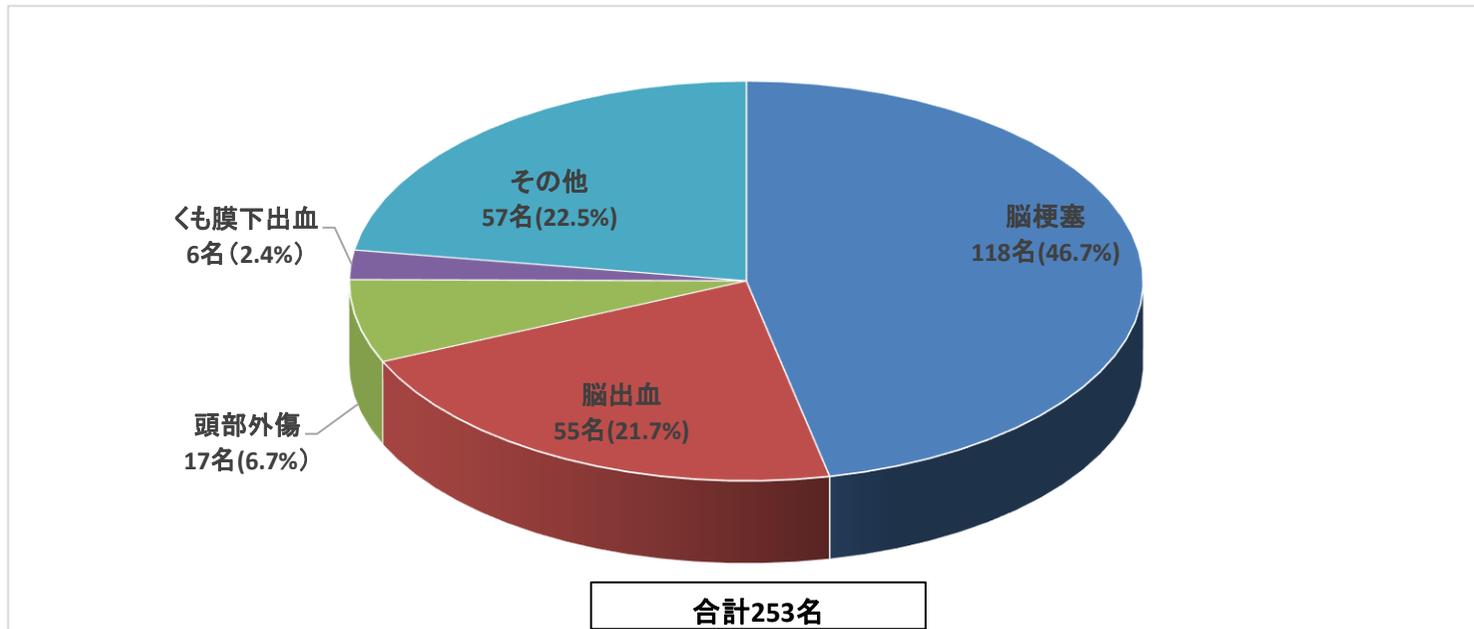


2023年度回復期リハビリテーション病棟入院実績(2023.4.1～2024.3.31)

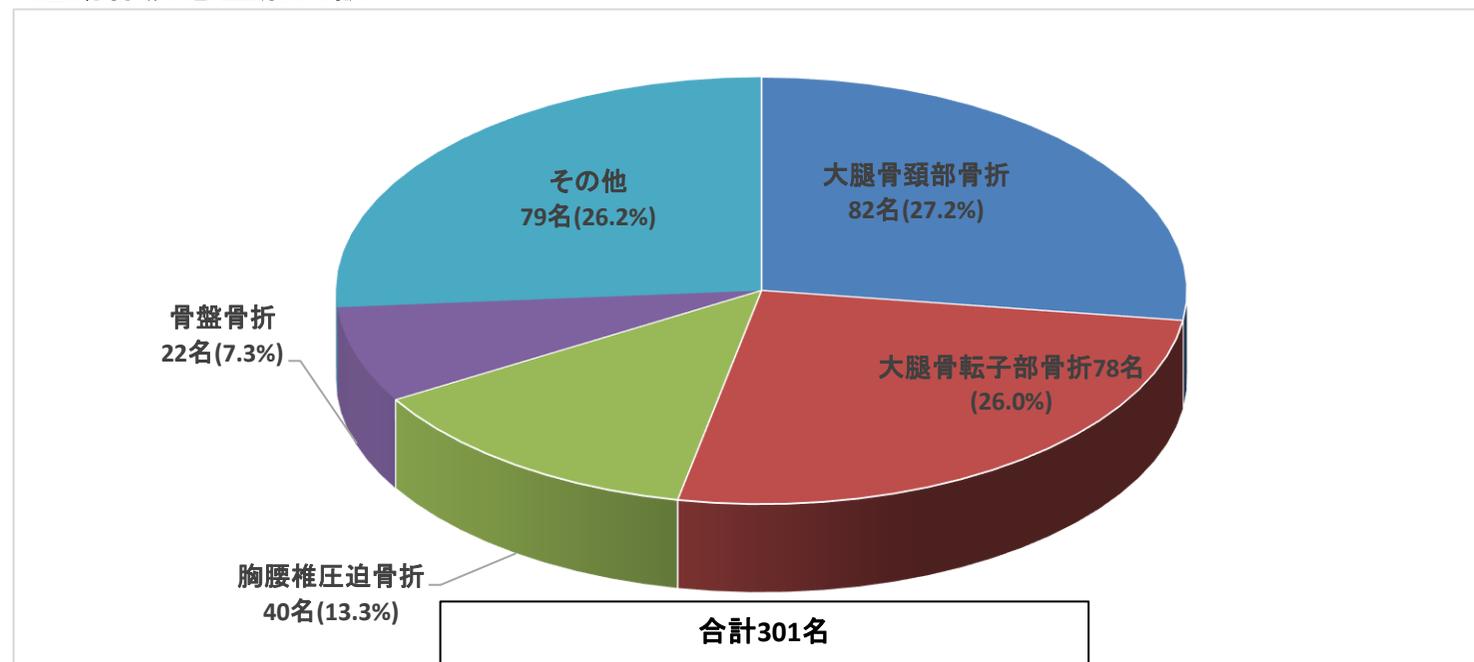
・新規入院患者数疾患毎内訳



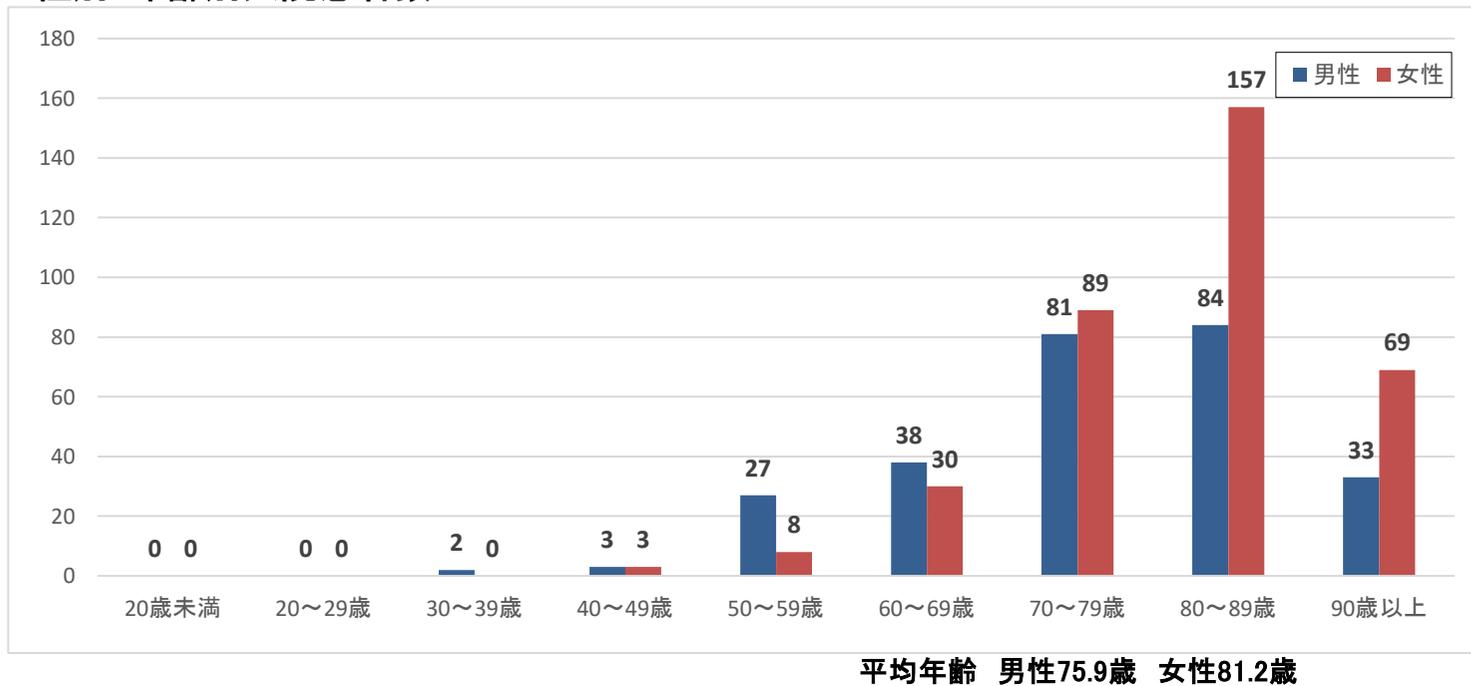
・脳血管疾患主病内訳



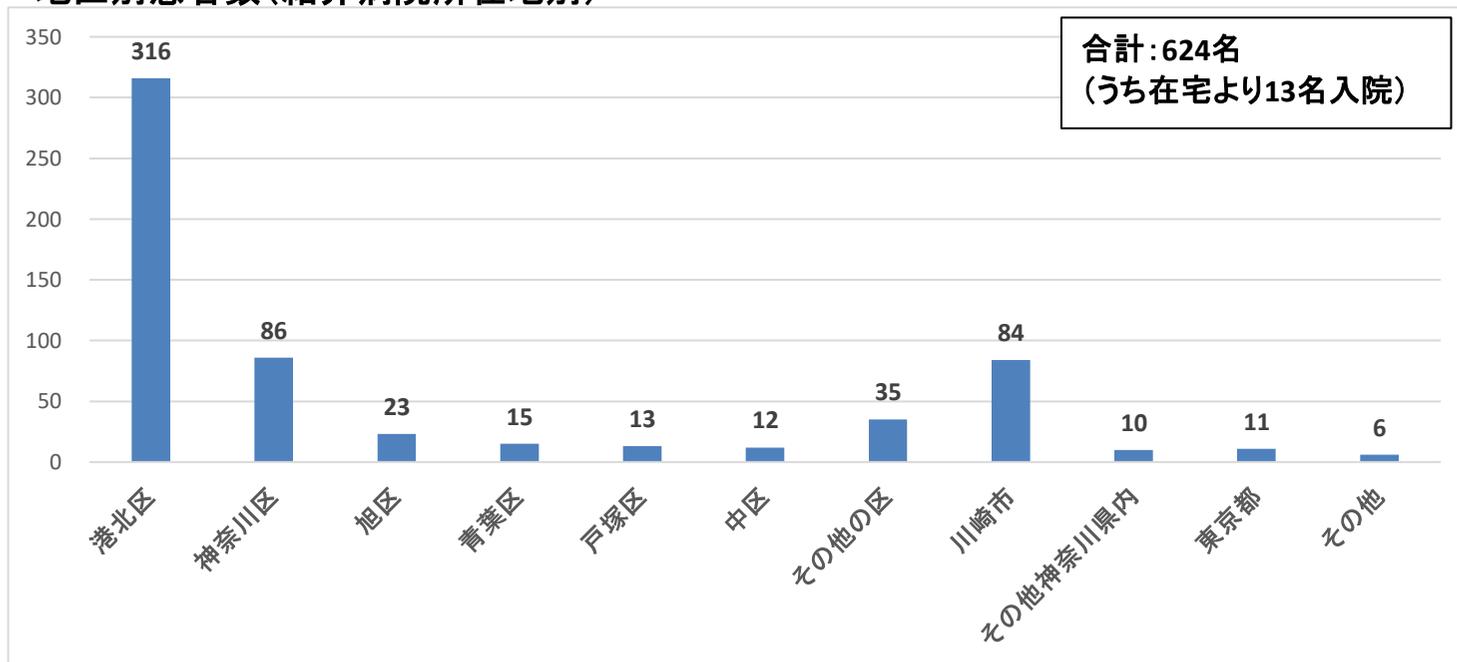
・運動器疾患主病内訳



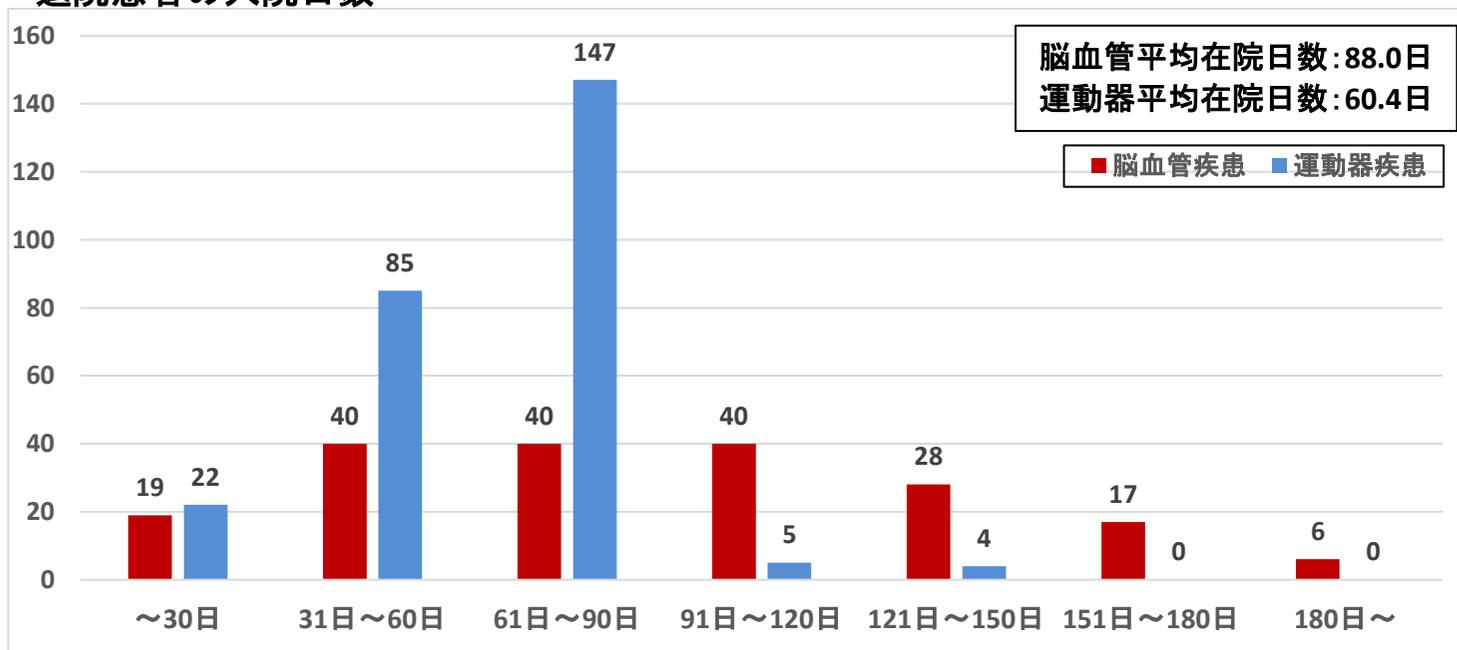
・性別・年齢別入院患者数



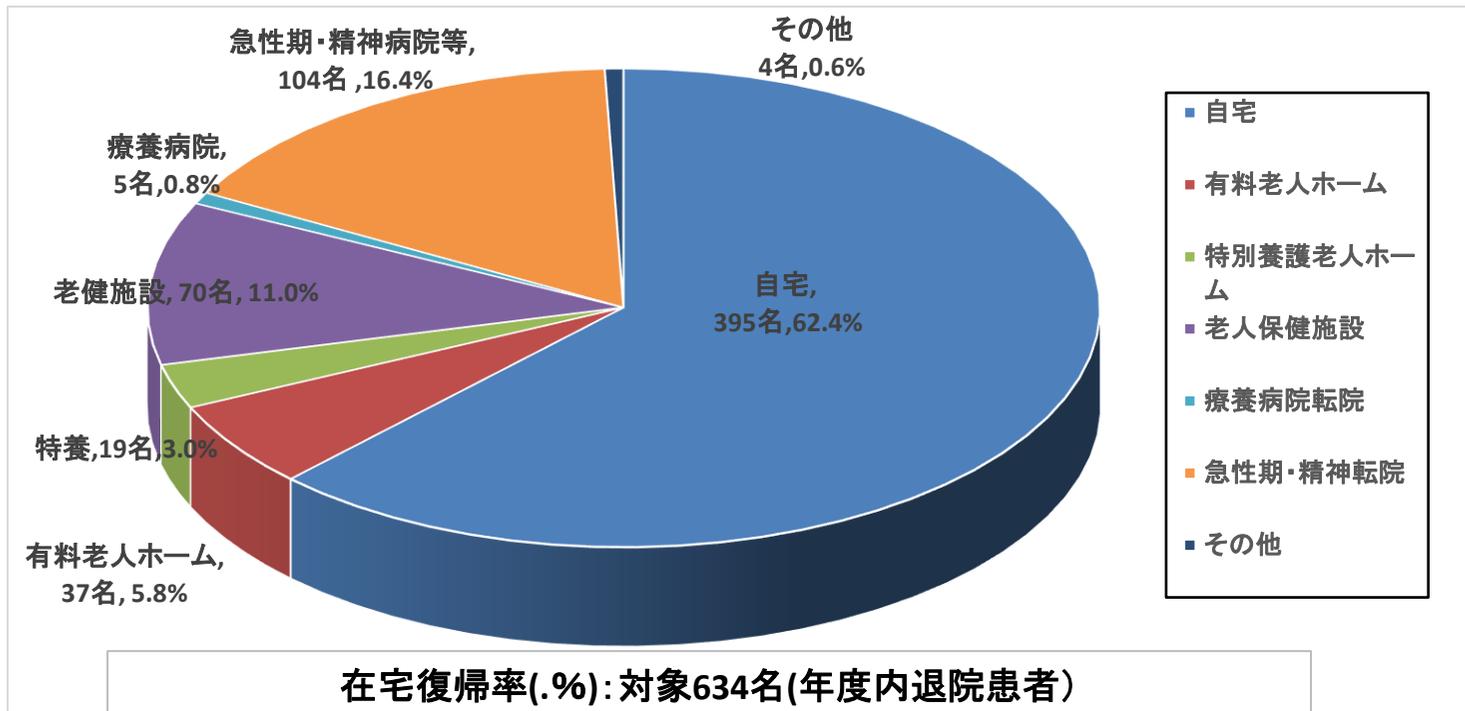
・地区別患者数(紹介病院所在地別)



・退院患者の入院日数



・在宅復帰率(退院実績)



・患者一人当たり一日リハビリ実施単位数

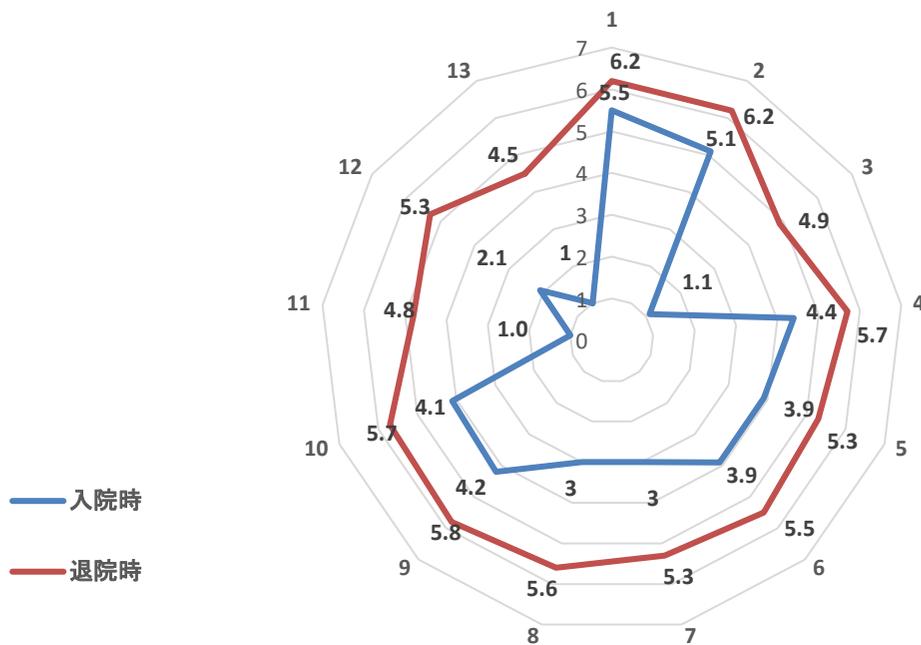
	脳血管疾患	運動器疾患
リハビリ単位数	8.8	5.9

※1単位20分です。保険診療では脳血管疾患が1日9単位まで、運動器疾患・廃用症候群が1日6単位までという制限があります。

・FIM入退院時推移(運動項目)

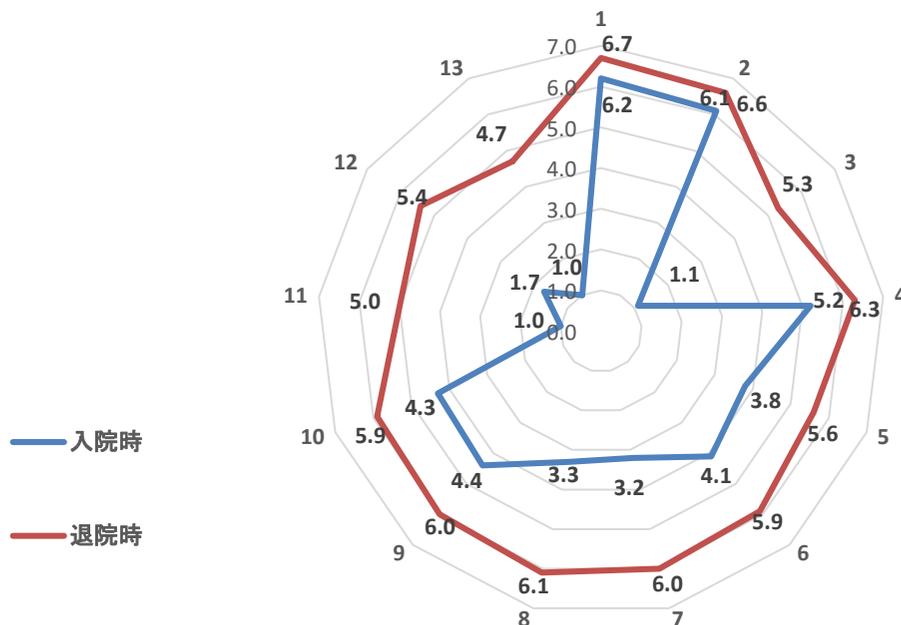
脳血管疾患		入院時	退院時	利得	
運動項目	セルフケア	①食事	5.5	6.2	0.7
		②整容	5.1	6.2	1.1
		③清拭	1.1	4.9	3.8
		④更衣・上半身	4.4	5.7	1.3
		⑤更衣・下半身	3.9	5.3	1.4
		⑥トイレ動作	3.9	5.5	1.6
	排泄コントロール	⑦排尿管理	3	5.3	2.3
		⑧排便管理	3	5.6	2.6
	移乗	⑨ベッド・椅子・車椅子	4.2	5.8	1.6
		⑩トイレ	4.1	5.7	1.6
		⑪浴槽・シャワー	1.0	4.8	3.8
	移動	⑫移動	2.1	5.3	3.2
		⑬階段	1	4.5	3.5
合計		42.3	70.8	28.5	

FIM入退院時推移(脳血管疾患)



運動器疾患		入院時	退院時	利得	
運動項目	セルフケア	①食事	6.2	6.7	0.5
		②整容	6.1	6.6	0.5
		③清拭	1.1	5.3	4.2
		④更衣・上半身	5.2	6.3	1.1
		⑤更衣・下半身	3.8	5.6	1.8
		⑥トイレ動作	4.1	5.9	1.8
	排泄コントロール	⑦排尿管理	3.2	6.0	2.8
		⑧排便管理	3.3	6.1	2.8
	移乗	⑨ベッド・椅子・車椅子	4.4	6.0	1.6
		⑩トイレ	4.3	5.9	1.6
		⑪浴槽・シャワー	1.0	5.0	4.0
	移動	⑫移動	1.7	5.4	3.7
		⑬階段	1.0	4.7	3.7
合計		45.4	75.5	30.1	

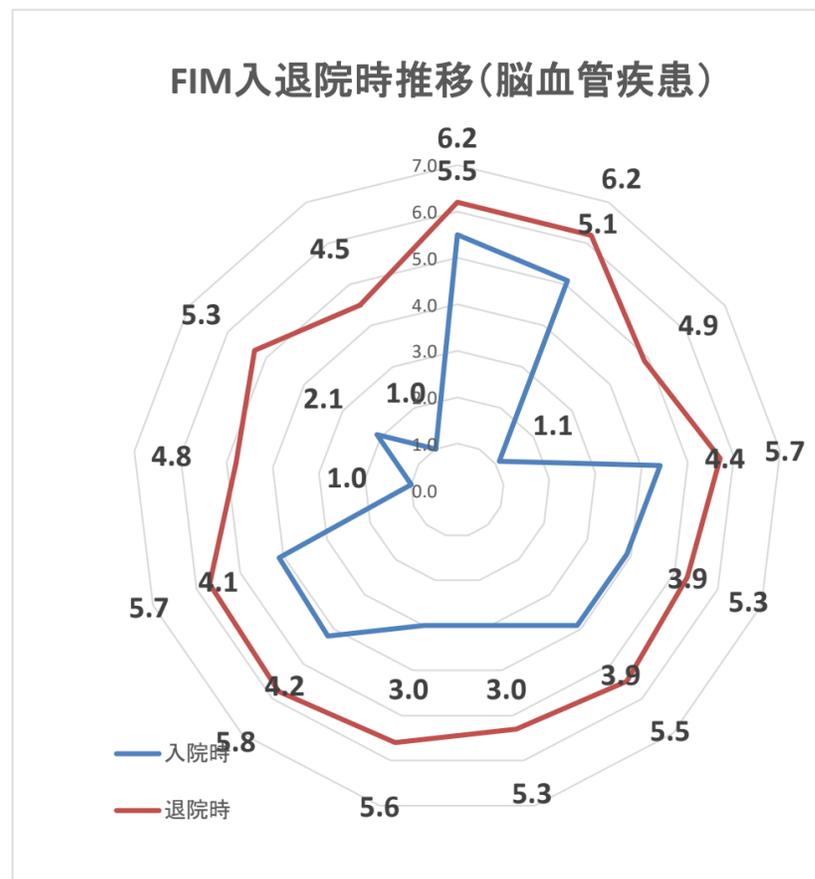
FIM入退院時推移(運動器疾患)



FIM集計 (2023.4.1 ~ 2024.3.31)

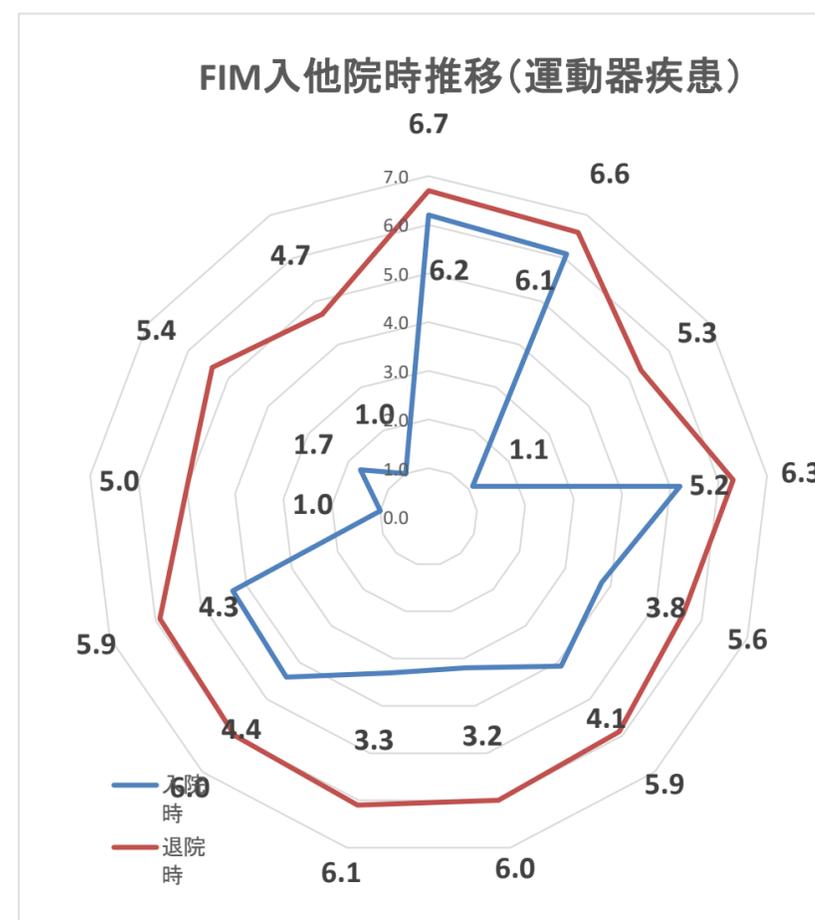
脳血管疾患			入院時	退院時	利得
運動項目	セルフケア	食事	5.5	6.2	0.7
		整容	5.1	6.2	1.1
		清拭	1.1	4.9	3.8
		更衣・上半身	4.4	5.7	1.3
		更衣・下半身	3.9	5.3	1.4
		トイレ動作	3.9	5.5	1.6
	排泄コントロール	排尿管理	3.0	5.3	2.3
		排便管理	3.0	5.6	2.6
	移乗	ベッド・椅子・車椅子	4.2	5.8	1.6
		トイレ	4.1	5.7	1.6
		浴槽・シャワー	1.0	4.8	3.8
	移動	移動	2.1	5.3	3.2
		階段	1.0	4.5	3.5
	合計			42.3	70.8

対象人数:195名



運動器疾患			入院時	退院時	利得
運動項目	セルフケア	食事	6.2	6.7	0.5
		整容	6.1	6.6	0.5
		清拭	1.1	5.3	4.2
		更衣・上半身	5.2	6.3	1.1
		更衣・下半身	3.8	5.6	1.8
		トイレ動作	4.1	5.9	1.8
	排泄コントロール	排尿管理	3.2	6.0	2.8
		排便管理	3.3	6.1	2.8
	移乗	ベッド・椅子・車椅子	4.4	6.0	1.6
		トイレ	4.3	5.9	1.6
		浴槽・シャワー	1.0	5.0	4.0
	移動	移動	1.7	5.4	3.7
		階段	1.0	4.7	3.7
	合計			45.4	75.5

対象人数:244名



※当院の評価点数は全患者(急性期へ転院した患者を除く)の点数を軸に平均値を記したのになります。

・FIMについて・・・FIMとは機能的自立度評価法と言われ、患者様の日常生活動作(ADL)の介助量を測定する中で最も信頼性があると言われてています。

評価項目については運動項目13項目と認知項目5項目の計18項目からなります。

採点は1～7点の7段階で評価を行います。

点数	内容
7点	「完全自立」、補助具や介助なしで自立
6点	「修正自立」、時間を要し、装具や自助具、服薬が必要、安全性の配慮が必要
5点	「監視・準備」、監視や準備や指示など促しが必要
4点	「最少介助」、手で触れる以上の介助は必要なし、「75%以上」は自分で行う
3点	「中程度介助」、手で触れる以上の介助が必要、「50%～75%未満」は自分で行う
2点	「最大介助」、25%～50%未満は自分で行う
1点	「全介助」、25%未満しか自分で行わない

※回復期病棟入院対象疾患について

* 脳血管疾患 *	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷、脊髄損傷などの発症もしくは手術後
* 運動器疾患 *	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の骨折もしくは手術後
* 廃用症候群 *	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により「立てない」「歩けない」等の日常機能が低下した状態